

けんこうづくりすいしんじぎょう

健康づくり推進事業・・・約800万円

生活習慣病を予防する為に、市民の健康づくりを進める事業を行っています。[みんなで生き生きと健やかに暮らしたい]をめざして「健康寿命の延伸」を目標にした「健康増進計画」～ヘルシーおきなわシティ21～をもとに健康づくりに取り組んでいます。

多くの方へ健康づくりの大切さを伝える為の講演会、メールを活用し気軽に楽しみながらチャレンジする「3cm3kg減らそうチャレンジ活動」などがあります。

また健康づくりキャラクター「おきはくん」も健康づくりのお手伝いをしています。



けんりようごすいしんじぎょう

権利擁護推進事業・・・約1,300万円

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない高齢者及び障がい者の方が住み慣れた地域で、誰でも安心して、自分らしく暮らし続けることができるための権利と財産を守る相談から支援までを行っています。

例えば、本人の権利や財産を守ることや生活を支えるお手伝いをする成年後見制度の相談や地域の権利擁護支援の担い手の養成及び活動、権利擁護の普及啓発に関する広報及び講演会を開いています。

じゅうたくしえんきゅうふじぎょう

住宅支援給付事業・・・約2,200万円

仕事を辞めたりしたことにより、アパート等の家賃が払えない人に対し、3カ月～9カ月の家賃を援助し、就労支援をおこないます。

ふれあいのまちづくりすいしんじぎょうほじょきん

ふれあいのまちづくり推進事業補助金 ・・・約400万円

沖縄市社協（しゃきょう）は、市民が住み慣れた沖縄市で安心して生活することのできる「福祉のまち」の実現を目指した様々な活動を行っています。具体的には悩みや心配ごとの相談ができる「心配ごと相談所」や、地域の問題について住民同士で話し合ったり、一人暮らし高齢者などの見守りや相談を行える体制をつくる小地域ネットワークづくり活動などを行っています。沖縄市では市民が安心して住める沖縄市にするためにこれらの活動は重要だと考え、必要な費用を沖縄市社協（しゃきょう）に支援しています。

しょうがいしゃきかんそうだんしえんせんたーうんえいじぎょう

障がい者基幹相談支援センター運営事業 …約2,100万円

障がいのある方やご家族がスムーズに相談できる体制づくりと支援のネットワーク構築をとおして、誰もが住みやすい地域づくりの発信を行います。

ふかちょうしゅうひ

賦課徴収費 …約8,600万円

市民一人一人の国民健康保険の保険料を計算したり、保険料を集めたりして、国保事業の安定運営を目指します。

こうれいしゃにんげんどつくじょせいじぎょう

高齢者人間ドック助成事業 …約700万円

生活習慣病等の予防、早期発見及び健康の保持増進を図ることを目的に人間ドック（または脳ドック）検査料の一部を助成して、費用負担の軽減を図っています。

75歳以上（一定の障がいがあると認定された65～74歳の方を含む）の後期高齢者医療制度加入者が対象になります。

